

安吾と囲碁

2023. 9月 2日 [土] — 12月 17日 [日]

1937年、安吾は書きかけの長編小説「吹雪物語」をもって京都に出かけ、仕上げたものの納得がいかず、囲碁に打ちこんだ。「碁は長時間にわたって理知を傾けつくす」「勝敗それ自体が興味」（「青春論」1942年）なので、一時的に「文学と断絶」（「囲碁修行」1938年）するにはふさわしかったのだろう。

昭和初期、碁界は大きな変革期を迎える。21世本因坊秀哉が引退すると名跡を日本棋院に譲渡し、これまで続いた家元制の終身名人から、本因坊戦を勝ち抜いた実力者に名跡が与えられる制度へと移行したのだ。

安吾は、愛好家の作家や学者らの交流を図って作られた文壇囲碁会に参加するようになり、碁を通じての交友も広げていった。

愛用の碁盤・碁石や観戦記、棋風に触れた原稿や書簡など、安吾の囲碁への耽溺ぶりを紹介する。

◇おもな展示作品

- 自筆原稿（未定稿） [呉清源について] 1951年頃
- メモ 本因坊・呉清源十番碁観戦メモ 1948年
- 安吾愛用の碁盤、碁石
- 日本棋院免状 二段 1950年11月
- 書簡 野上 彰 坂口安吾宛 封書 1951年2月頃
- 書簡 尾崎一雄 坂口安吾宛 はがき 1953年5月20日
- 書簡 頼尊清隆 坂口安吾宛封書 1954年1月20日 ほか
- 初出紙 観戦記「本因坊岩本薫・呉清源十番碁」 読賣新聞 1948年7月
- 初出誌 「呉清源」『文学界』 1948年10月 新潟市立中央図書館蔵
- 蔵書 川端康成著『呉清源棋談・名人』 文藝春秋新社 1954年 ほか

【和室展示】 坂口綱男撮影

高麗神社（埼玉県日高市）の獅子踊り 2015年

次回展覧会のご案内

安吾って！？ Part 6

関連イベント

「安吾 風の館」見学と安吾ゆかりの地めぐり

日時：9月9日（土） 13：30～15：30

集合場所：安吾 風の館 参加費：500円 定員 10名

申込・問合せ：安吾の会事務局（新潟・市民映画館シネ・ウインド）

主催：安吾の会 TEL 025-243-5530



バスのご案内 新潟駅万代ロバスターミナル 7番線から、または観光循環バス乗車「西大畑坂上」バス停下車徒歩3分

- 開館時間 10：00～16：00 ■ 観覧無料
- 休館日 毎週月・火曜日 祝日または振替休日の場合はその翌開館日

旧市長公舎 安吾 風の館

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町 5927 番地 9 TEL & FAX 025-222-3062